

会長 橋本 洋子 副会長 高橋 正雄・佐藤 誠 幹事 佐藤 一博

事務局・さいたま市大宮区下町 2-15-8 コーポ KEN406

TEL048-645-0180 FAX048-648-2188

Rotary



RI テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」(Rotary Opens Opportunities)

大宮南 RC 運営方針「素晴らしい機会の扉を私たちの手で開きましょう」

第 2030 回例会

第 2770 地区 地区大会

ローヤルパインズホテル浦和・川口リリア

大宮南ロータリークラブ
第二〇三一回例会次第

開会点鐘
入会式
ロータリーソング斉唱 「我等の生業」
ロータリーの目的唱和
ターゲット唱和・四つのテスト斉唱
お客様紹介
会長挨拶・報告
幹事報告
ロータリー情報
委員長・地区出向者報告
卓話 田中翠子様
テーマ「救いを託されている
赤十字の感染症・災害対応」

閉会点鐘
次回例会案内

会長挨拶・報告

橋本 洋子会長

先日は長時間にわたり地区大会に出席していただき、本当にありがとうございました。講演会は非常に感銘を受けるものでした。又、今日は赤十字の田中様の卓話ですが、この時期にぴったりの卓話をさせていただくことになっており本当に有難く思っております。

10月の皆勤賞は15名です、詳しくは後ほど幹事に報告してもらいますが、皆勤賞の品は高島屋の茅乃屋の出汁にいたしました。大変美味しく是非皆さんにも試していただきたいと思われましたので、この品を用意させていただきました。

幹事報告

佐藤 一博幹事

- ① 11月ロータリーレート 1\$=104円
- ② 「ハイライトよねやま」「やどかり」回覧。
- ③ 地区部門委員長活動状況報告を 유튜브 配信。

お客様紹介

佐藤 誠副会長

田中 翠子様

(日本赤十字社埼玉県支部振興課会員係長)

平野 裕明様

(日本赤十字社埼玉県支部振興課課長)

委員長・地区出向者報告

山崎 聡亮パスト会長

浦和東 RC 50周年が行われる予定でしたが、コロナで中止になり、記念誌と DVD が届きました。記念誌を回覧しますのでご覧ください。

地区大会において昨年度のロータリー賞のプラチナ賞をいただいたことをご報告します。

山本かなえ会員

来週の卓話は歌手の天音美広様です。人吉出身でロータリーのボランティア活動にも参加しており、支援物資をお送りした経緯もあり現地の報告などについて卓話してくださるそうです。

阪 泰彦親睦委員長

12月3日の忘年家族例会、11月20日が締め切りとなっておりますので是非ご出席ください。

増井 大輔会員

先ほどご紹介いただきました茅乃屋さんの出汁は24日迄販売をさせていただきます。店頭でも、通販でも買える日常着のショップがオープンしました。

外部卓話

救いを託されている赤十字の感染症・災害対応

平野 裕明様

昨日大野知事(埼玉県支部支部長)から赤十字社に對してご寄付をいただいた方々に紺綬褒章や厚生労



働大臣感謝状などをお渡しする伝達式がありました。埼玉県にはさいたま日赤、小川日赤、深谷日赤とありますが、いずれも

緊張の連続で治療に当たっていると聞いております。本日は田中の方からコロナ、災害に関する事をお話したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

田中 翠子様

今日は発生当初から赤十字が全国的にどのような活動をしてきたのか、ニュースなどでは取り上げられないところを中心にお伝えしたいと思います。

赤十字という組織は、自然災害の現場に駆けつけて命を救うための医療や看護を提供する組織です。災害対応と聞くと行政というイメージが強いと思いますが、大きな災害だと行政だけでは手が回らず公正を重んじなければいけないという性質もあり、スピーディな動きもできないので、そういったところを支援して補完していくという役割を担っています。全国には91の赤十字病院があり救護班という医療チームが498班あります。何が起こってもすぐに出勤できる態勢を整えています。病院・献血は財源が異なりますが、民間の組織でほとんどが寄付で成り立っています。

新型コロナウイルスとの闘いは、クルーズ船で発生した集団感染の場に派遣された時から始まります。厚生労働省の依頼に応じて142名の医者・看護師を派遣し船内の乗客乗員の健康確保を行い、重症患者の搬送も担っていました。長期間に亘ったので全国の医療チームで交代して何とか凌ぎました。厚生労働省と埼玉県からの要請で、埼玉の和光市にある税務大学校で中国からのチャーター便で帰国した人の健康チェックを医師と看護師で見っていました。今よりも未知のウイルスだったのでかなり神経を使い、感染対策をしっかりして安全なところで活動はしているのですが疑心暗鬼に陥ってしまい非常に疲れる現場でした。6月頃夜の町での感染拡大が問題になった時、県からの要請で大宮の夜の町で大規模なPCR検査を行いました。こうした活動の中、感染した職員は0名、その理由としては、海外の感染症の救援活動を行う医師が全国的に感染症のアドバイザーになり、現場を視察して対策を直接アドバイスしそれが生かされていたからです。医療の現場とは違う話ですが、コロナハラスメント対策の啓発活動も行っています。これは新型コロナウイルスが原因で発生するハラスメントの仕組みを解明し

てそれにどう対処すべきかを啓発しています。



最後に災害についてですが、コロナ時代での避難所での様子は距離を取って感染防止をするという必要があります。想定よりも少ない人数しか入れなくなり、避難者が入れないということも想像できます。ウイルスを持ち込まないように活動して行く必要性がありました。このような状況下でどのような災害の備えをしたらよいのか、どうやって避難所へ行ったら良いのかということがありますが、分散避難つまり避難所へ行かない、避難所以外に避難するところを持つという選択肢を持ってほしいということです。知り合いの家、車の中、安全な自宅、そのための準備が必要です。ハザードマップを確認する、在宅避難の為の備蓄などが挙げられ、家族間で避難場所・方法を共有することが必要です。

今コロナの第3波が来ております。感染対策に十分気を付けながら行動をして頂きたいと、一医療関係者としてお願いしたいところでございます。



ロータリー情報

柴田 覚研修委員長

<10月の皆勤賞>(敬称略)

大沢守輝、奥隅江里子、樺沢二郎、斉藤一博、阪泰彦、佐藤一博、佐藤誠、柴田覚、高橋正雄、高橋満広、塚田拓也、野本悦子、橋本洋子、藤井フズ子、山崎聡亮

ニコニコ BOX	¥17,000
会員数 40名	出席者数 18名
出席率 47.37%	
欠席した免除適用を受けた会員数 2名	
本日の司会者	塚田 拓也副 SAA
本日の撮影者	高橋 満広会員